

本日ここに、令和2年第7回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私は概要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

師走に入り、今年も残すところ1か月となりました。

この1年を振り返ってみますと、今年、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大に伴い、1964年以来56年ぶりの開催となる東京2020オリンピック・パラリンピックが来夏に1年延期となり、お盆の帰省など都道府県をまたぐ移動が制限されるなど、市民生活や社会経済活動に重大な影響を及ぼした年でありました。

また、9月には約7年8ヵ月にわたり日本のかじ取り役を担ってこられた安倍晋三総理が辞任され、菅義偉第99代内閣総理大臣による新内閣が発足しました。

新政府において、感染症の抑止と経済活動の両立が重要課題となっていることから、菅総理は、先月の閣議で追加経済対策の策定と第3次補正予算案の編成を指示しています。感染症対策、日本を取り巻く国際情勢や経済の問題など多くの課題解決に向け、強いリーダーシップを発揮されることを期待したいと思います。

本市におきましては、3月市議会後、臨時議会の開催や専決処分により、新型コロナウイルス関連の補正予算を毎月編成し、スピード感を持って対策事業を実施してきました。

上限70万円の補助金を交付する「中小企業者等支援事業補助金」は、融資申込み件数の増加に対応するため1億円の予算に7千万円を追加し、先月末時点で、254件、1億4,616万円交付しています。

特別定額給付金の給付対象とならない新生児を対象に、市の単独事業として1人当たり5万円を給付する「新生児臨時定額給付金給付事業」については、先月末時点で、84人の新生児に対し給付しました。

プレミアム率100%の「スーパープレミアム付商品券事業」は、10月末をもって販売を終了しましたが、販売率は88.4%と好評で、商品券がすべて消費された場合、直接的には、約5億8千万円の経済効果が発生します。

また、先の11月臨時議会では、プレミアム率50%の飲食券を発行することにより、市内の飲食店を支援する「八幡浜市プレミアム付飲食券事業（名称：やわたはま食うぼん券）」の承認をいただいたところです。名称の「やわたはま食うぼん券」は「クーポ

ン」と「食う、はまぼん」をかけたもので、親しみのある名称になったと思っています。来年1月8日の販売開始を予定しており、Withコロナの状況にあっても、感染防止対策と社会経済活動の両立を図り、感染リスクを抑えながら、家族や身近な人たちとの食事などを通じて、飲食店の支援に活用いただけたらと思います。

この臨時議会では、養殖鯛などの価格が低迷している養殖業者を支援するため、養殖共済掛金に対する補助率を4分の1から3分の2、上限額を100万円から500万円に引き上げる予算の承認もいただきました。

新型コロナウイルスは、全世界で再び感染者が増加しており感染拡大に歯止めがかかっていません。日本においても、感染拡大の波が大都市圏から地方に押し寄せており、愛媛県では、先月20日から、これまでの「感染縮小期」から「感染警戒期」に移行しました。

本市では、今のところ市民の感染者は確認されておりませんが、これから、クリスマス、年末年始の帰省、初詣など、不特定多数の人が集まる機会が増えることを考えれば、誰が、いつ、どこで感染してもおかしくない状況にあると言えます。

ネットやSNS等では感染者や家族、医療従事者等への偏見や誹謗中傷などが大きな社会問題となっています。偏見や根拠のない噂を信じ、広げたり、攻撃したりすることは絶対にあってはならないことです。

市民の皆様には、こうした誤った情報に惑わされず、正確な情報に基づき慎重な行動をお願いするとともに、引き続き、油断することなく「うつらないよう自己防衛」「うつさないよう周りに配慮」「習慣化しよう3密回避」という感染回避行動を実践していただきますようお願いいたします。

さて、本市の基幹産業であるみかんの販売促進セールスのため、先月5日に東京大田市場で行われた、「JAにしゅうわ」が初出荷した早生温州みかんの初競りに行ってきました。

今年の高知みかんは、8月の日照が豊富で過去数年の中でも特に糖度が高く、台風の影響もほぼ受けなかったため、傷の少ない高い品質となっています。1キロ当たりの平均単価は335円と「JAにしゅうわ」が発足した1993年以降、最高値だった昨年を2円更新するとともに、日の丸の桐箱高級みかん20キロ入りに100万円の高値がつくなど高評価をいただき、素晴らしいスタートを切ることができました。

これもひとえに、農業生産者の皆様や「JAにしゅうわ」の努力の賜物だと思っています。

本市のみかんは、全国トップのブランド力があり、プライスリーダーとしての地位を長く維持していますが、一方で、柑橘農家の高齢化が進み、担い手不足が課題となっています。さらに今年は、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念され、みかんアルバイ

ターの確保が難しくなっている状況を踏まえ、市としましても収穫期労働力確保と感染症対策に支援を行うなど、引き続き柑橘産業をバックアップしていきます。

八幡浜市民文化活動センターでは、先月3日に「やわたはま芸能文化祭」を開催し、コロナ禍で日々の活動が難しい状況ではありましたが、多くの団体にご参加いただき、練習の成果を披露していただきました。

また、一昨日には、旧市民会館から引き継いだグランドピアノを使用して、新しいホールで初めてとなるクラシックコンサートを当市のピアニスト舩田眞代さん、広島からヴァイオリニスト甲斐摩耶さん、チェリスト岩橋綾さんをお迎えして開催しました。

さらに、今月6日には、南海放送との共催により、「愛媛オールスターズJAZZ FESTIVAL IN八幡浜」の開催を予定しています。また、映画の上映も毎月1回3作程度を上映しており、定着してきたと感じています。

八幡浜市民文化活動センターでは、引き続き、市民の皆さんの「練習の場」「発表の場」としてのご利用を促進する外、優れた文化芸術を「鑑賞する場」としての機能を発揮できるよう、様々な事業を実施していきたいと考えていますので、多くの皆様にご来場いただければと思っています。

11月には、市立八幡浜総合病院内に設置されている「地域サテライトセンター」に、愛媛大学医学部第三内科から新たに消化器内科の医師1名が派遣され、医師が増員となりました。このことは市民にとって念願の医師の配置であり「さらに暮らしやすい街づくり」のため、今後も継続して医師確保に取り組んでいきます。

また、市立八幡浜総合病院では、感染症の感染拡大により入院の必要な患者が増えた場合に備え、感染症病床2床に加え、陰圧の病床を確保するとともに、季節性インフルエンザの流行により多数の発熱患者が発生することも予想されることから、医師会と協力し、新たな外来診療・検査体制の整備を進めています。

それでは、今回提案の12月補正予算案の主なものについて、順次ご説明します。

最初に「新型コロナウイルス感染症対策」についてであります。

感染症の影響により魚価が下落している状況を踏まえ、7月専決予算で漁業者が卸業者に支払う手数料の3割を12月まで補助することとしていましたが、魚市場の取扱額は9月時点で前年比マイナス20%と依然として厳しい状況が続いているため、令和3年3月まで補助を継続することとしました。

漁業者の負担を軽減するとともに、取扱量が増えることによる魚市場の賑わいや地域経済の活性化を期待しています。

次に「さらに安全安心な街づくり」についてであります。

「令和2年7月豪雨」により、江戸岡地区にある旧給食センター跡地付近から雨水が溢水したため、8月専決予算で早急に管渠内部を調査しました。

管渠内部は、千丈川までのほぼ全区間において土砂が堆積し、断面の縮小により流水に影響を及ぼしていたため、堆積した土砂を撤去し、管渠の正常な機能回復を図っていきます。

また、八幡浜庁舎にある非常用発電機は、昭和59年建築（竣工）当初のままで、現在、災害等の緊急時対応に必要なパソコンや電算サーバー等に対し、容量不足となっています。この庁舎は、災害対策本部を設置する防災拠点施設であり、情報収集、各関係機関との連絡・調整、市民の避難に係る情報伝達等、災害時に必要な機能を果たすため、非常用発電機を更新します。

このほか「平成30年7月豪雨」により被害のあった日土簡易水道組合の配水管工事に対する補助の予算を計上しています。

次に「さらに暮らしやすい街づくり」についてであります。

八幡浜市教育委員会では、少子化に伴う学校再編を進めており、令和3年4月1日をもって八幡浜市立真穴中学校と八代中学校が統合することとなりました。

真穴中学校閉校記念式典を行い、真穴中学校閉校準備委員会が作成する記念誌や記念碑の設置に対して支援することとしています。

八代中学校に学びの場が移っても、真穴中学校の生徒たちが様々な人と出会い、伸び伸びと勉強や部活動に励むことでお互いがこれまで以上に成長できていると思っています。

また、松蔭小学校木造校舎には、理科室等と空き教室を利用した松蔭児童クラブを設置していますが、耐震性が無いため来年度の夏休み中に校舎を取り壊し、新たに木造校舎を建て替えることとしています。

建替え工事中は、児童クラブは中央公民館を使用しますが、理科室等はグラウンドに建設する仮設校舎を使用します。工事着手までに確認申請や仮設許可申請等の手続きが必要となり、今年度に入札と契約を実施することから、仮設校舎にかかる来年度の費用は、債務負担行為にて必要な期間と限度額を設定しています。

最後に「その他の取り組み」についてであります。

選挙における期日前投票を行う際には、法令上、その理由を申し立てて、宣誓することが義務付けられており、宣誓書を提出することになっていますが、選挙人が期日前投票所に行かれる前に宣誓書を記載することができるように、投票所入場券の裏面に宣誓書の様式を加えるためのシステム改修を行います。また、投票所入場券を、現行では1枚につき5人まで連記できる圧着ハガキとなっているものを、1人につき1枚のハガキに変更することにより、選挙人の利便性向上と選挙事務の効率化を図ります。

以上が、12月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計	1億2,270万7千円の追加
特別会計（5会計）	286万3千円の減額
<u>企業会計（3会計）</u>	<u>1億4,470万 円の減額</u>
合計	2,485万6千円の減額を、ご提案申し上げるもので す。

増額した事業の財源といたしましては、国・県支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を計上し、財政調整基金の繰り入れを減額し調整しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。